

皆様、改めましておはようございます。

令和4年 第5回南関町議会定例会の開会において、繰り越し明許費の繰り越し報告について、令和4年度補正予算案、その他諸議案のご審議をお願いするに当たり、一言ご挨拶を申し上げ、議員の皆様並びに町民の皆様に一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

ここ数年は、全世界で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症や毎年発生している自然災害等により様々な活動にも支障が出ており、町民の皆様も本来の事業活動や地域での活動ができない厳しい状況が続いております。

特に新型コロナウイルス感染症については、第6波は5波までとは異なり、感染者が増加する一定の期間が過ぎても感染者が減少しないような高止まりの状態が続き、ここ数日は減少しておりますが、更なる予防と対策が必要であります。

本町でも感染当初からは既に310人を超える方の感染が発生し、今年に入ってから260人を超えており、全ての年代の方が対象となっております。

ワクチン接種においては、2回目までは全対象者の9割近くの方が接種を受けられておりましたが、3回目になると、65歳以下の方の接種率が55%ほどと、かなり低くなっておりますので、3回目未接種の方と4回目の接種の推進を図りたいと考えております。

今年も6月に入り、いよいよ梅雨入りの時期を迎えることとなりますが、今後は、町全域での豪雨災害や台風等への対策が必要なため、昨日は、関係機関や関係団体等の皆様方ご出席の中で、南関町防災会議を開催したところであります。

私自身も、災害等はいつどこで発生するかわからないという考えを改めて、災害等は毎年発生するという考え方を持って、気を緩めることなく危機管理に当たっていきたいと思いますので、議員の皆様におかれましても、災害に対する体制の強化や住民の皆様に対する啓発の強化にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ここで一つだけ町の明るい情報をお知らせさせていただきます。

去る5月26日、玉名地域振興局で開催された主要事業説明会の中で、玉名地域の県税の概要が報告され、荒玉地域の個人県民税収入率の推移で、南関町は平成30年度までは玉東町に次ぎ2番目の高さでしたが、令和元年度からは本町がトップとなり、令和2年度は98.9%という高さで、最下位の自治体とは3ポイント、2番目の玉

東町にも1ポイントの差をつけて圧倒的にトップを維持しております。

町では、税の公平公正な課税・徴収の観点からも担当課も一丸となって収納率の向上に努めた結果でありますので、今後も引き続き収納率向上に努めてまいりたいと考えております。

以上、現在の状況等も含めて、お話をさせていただきましたが、今回の議案の提案につきましては、

繰越明許費の繰越報告についてが1件、事故繰越しの繰り越し報告についてが1件、専決処分の報告及び承認を求めることについてが3件、南関町工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定についてが1件、熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更についてが1件、令和4年度南関町一般会計補正予算についてのほか各特別会計の補正予算についてが2件、令和4年度南関町下水道事業補正予算についてが1件を提案しています。

特に、一般会計補正予算は、当初予算が2月に執行された町長・町議選挙の関係で骨格予算となっており、今回の補正で5億5千万円ほどを追加しております。

主な内訳としましては、総務課・デジタル推進費の「窓口申請書作成支援システム構築業務委託料」13,200千円、福祉課・社会福祉総務費の「非課税世帯等臨時特別給付金」15,753千円、建設課・単独事業の「改良舗装工事」40,000千円、県営事業負担金の「道路改築・河川改修事業負担金」24,500千円、地域振興対策費の「改良舗装工事」41,687千円、定住促進住宅管理費の「営繕工事」23,000千円、教育課・海洋センター施設費の「営繕工事」28,329千円などを増額し、一般会計の総額を6,170,527千円としているところであります。

ご審議のうえ、ご承認賜われますようお願い申し上げます。定例会開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。